

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会  
令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日）  
事業計画

1. はじめに

昨年に続き新型コロナウイルス感染症による影響は、とどまるどころがありません。感染者数に一喜一憂するだけではなく、コロナとともにどのような生活や活動ができるか、創意工夫が求められています。

コロナ禍に限らず、世界中でスカウトがその国に応じた活動を展開し自助・共助・公助の分野で働きを担っています。世界スカウト機構が提唱する使命は“Creating a better World”（よりよい世界をつくる）です。「国際的な広がりのあるグローバルな地域の教育力」として、いまこそスカウト運動の真価が問われています。

一方日本では、昨年度の実態は、対面する活動を自粛するために従来の事業はほとんど実施することができませんでした。それでも、活動が停滞する隊と工夫して継続する隊に二分され、その原因は指導者の熱意の差という調査分析があります。

指導者の熱意が持続可能となるように、京都連盟の組織力を固め、社会の認知度を上げて中途退団を抑止できるよう、必要な支援を進めたいと存じます。

こうして京都の町づくり・人づくりに貢献することによって、本会維持会員の皆様のご篤志にお応えできるものと信じております。

次のそれぞれの事業ごとに計画を策定し実行してまいります。

- (1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業
- (2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業
- (3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業
- (4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のため共催事業
- (5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

2. 事業計画の内容

- (1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体

(イ) 助成の趣旨・用途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、スカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ウ) 事業予算

事業費として、1,300千円を見込む。

日本ボーイスカウト京都連盟（以下、「京都連盟」という。）の令和3年度事業費予算のうち、進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費等に必要となる事業費に対して助成する予定である。

(イ) 助成対象者からの助成申請及び実績報告

助成対象者からは書面による助成申請（事業の収支予算及び事業の実施概要）を受け、書面による実績結果（事業の収支決算及び事業の実施状況）を受ける。なお、助成申請及び実績報告は、助成対象者の組織的な機関決定を経たものであることを条件とする。

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

（当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル）

(イ) 体験活動の運営主体

日本ボーイスカウト京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(イ) 広河原野営場は、京都北山の自然を堪能できる拠点として、またボーイスカウトが目指すハイアドベンチャーの基地として、活用の方法を紹介し、利用者増を目指す。

(カ) 事業予算

事業費として、500千円を見込む。

老朽化したキャビン（内装）の修繕に助成する予定である。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業：「連携」

(ア) 趣旨

熱意ある指導者の育成は、喫緊の課題である。その人材を発掘し育成することはスカウト運動の普及に欠かせない。指導者養成の可能性を探るために初年度として試行する。

(イ) 連携の方法

大学生等から希望者を選抜し、登録費等の一部を補助する。定期的に報告を受けその助言によって指導者育成とする。

(ウ) 予算

事業費（普及宣伝費）として、50千円を見込む。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業：「イベント」

ボーイスカウトが主催する様々な行事が、参加者も主催者もワクワクする魅力ある活動であるか、またスカウト教育が目指す方向で成果があるかについて、外部の視点で評価

し、支援の意義を高めていく。

(7) 国際交流・国際貢献活動支援

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、海外スカウトのホームステイ受入、国際協力プロジェクトの派遣実施等を予定している。

(1) 社会に役立つ事業活動支援

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン 京都大会の沿道整理奉仕

防災意識の社会的な高まりに応じて、日本連盟が勧める「全国防災キャラバン」の京都会場を、地区主催で府内各地で開催する。

多くの地道な奉仕活動により大会を支えている事実を、マスコミ報道を通じてクローズアップさせる。

(2) 環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業：「広報」

ホームページと公式 LINE のアクセス数が増えるよう、積極的に更新を図る。

(7) ホームページと公式 LINE の充実により、組織内外のコミュニケーションを促進する。

①一般の子どもや保護者が参加可能な団主催「スカウト体験と説明会」や地区主催「バーランド」「カブラリー」等、スカウトの日（全国一斉に清掃などの奉仕活動を実施する）等について、ホームページ等にて告知し、地域の青少年の参加を促す。

②ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、ならびに不特定多数の方々に対して、ホームページ等を通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。

③ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員、および潜在的な維持会員に対して、ホームページ等を通じて、会費の協力を依頼する。

④OB の復帰受け皿としての「サポーター制度」を確立し、ホームページ等を通じて公募する。

(1) 事業予算

事業費として、396 千円（ホームページ運営改革費）を見込む。

以 上